

第5世代重粒子線がん治療装置・量子メス シンポジウム

量子科学技術による

「がん死ゼロ健康長寿社会」の実現を目指して

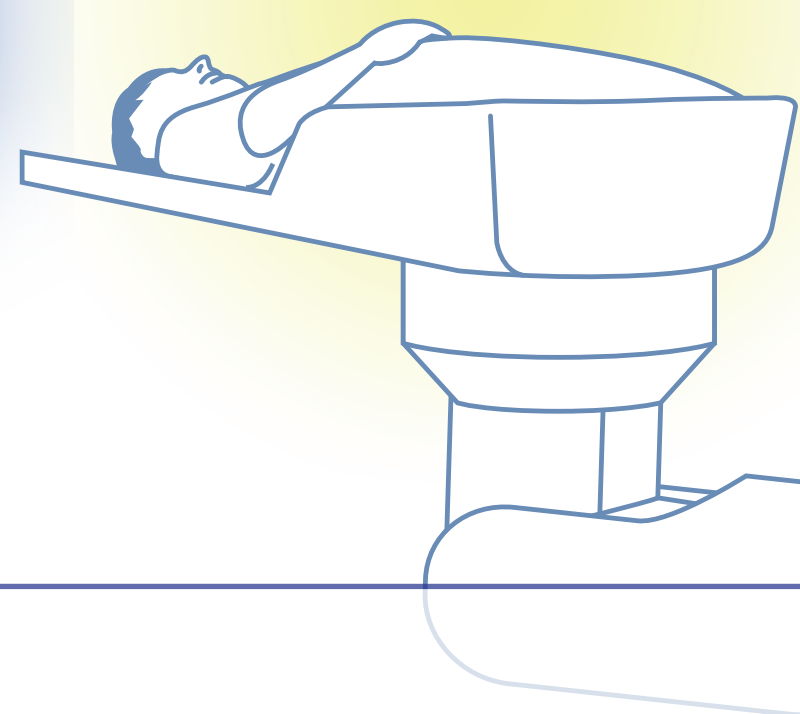
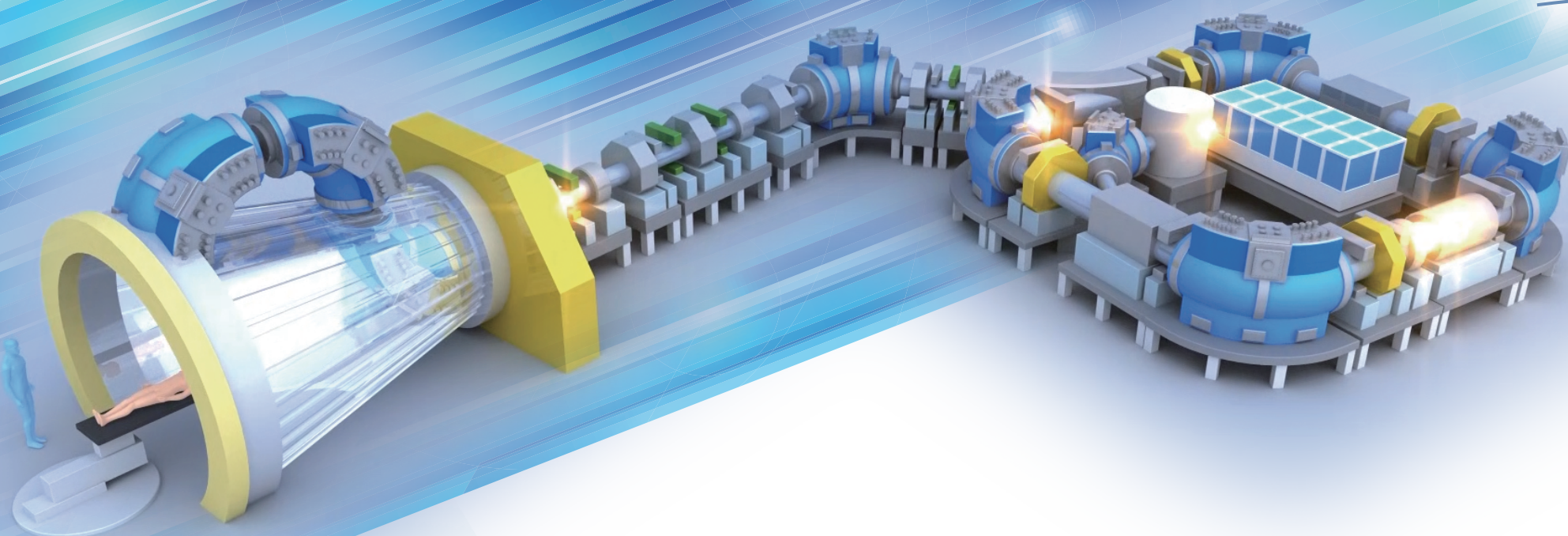
2021年 7月 15日 [木]

14:00-17:00

イイノホールまたはオンライン

(東京都千代田区内幸町 2-1-1)

参加無料
事前申込



QST と住友重機械工業、東芝エネルギーシステムズ、日立製作所は、第5世代重粒子線がん治療装置（量子メス）の開発に関する包括協定の下、協調的に研究開発を進めてきました。このたび協定の期間満了を迎え、今後は社会実装に向けて、新たな研究開発段階に移行します。

そこで本シンポジウムでは、これまでの「量子メス」の研究成果、そして将来構想をご紹介します。皆さまのご参加をお待ちしております。

》申込方法

QST ウェブサイト、量子メスシンポジウムのページ、または QR コードから申込フォームにアクセスしてお申込みください。

<https://www.qst.go.jp/site/qst-kakushin/event210715.html>



受付締切：2021年7月9日（金）

※お申込み時に、来場かオンラインどちらかお選びください。

※感染症対策のため、来場は先着200名（定員の半数）とさせていただきます。

■お問合せ

QST 量子メスシンポジウム事務局
E-mail QS2021@qst.go.jp

プログラム

- | | |
|-------|---|
| 14:00 | 開会挨拶
平野 俊夫 (QST 理事長) |
| 14:05 | 来賓挨拶 |
| 14:15 | 参画企業挨拶
住友重機械工業株式会社
東芝エネルギーシステムズ株式会社
株式会社日立製作所 |
| 14:30 | 基調講演 量子メス開発の現状と将来展望
野田 耕司 (QST 理事) |
| 15:00 | 講演① 重粒子線がん治療の成果と課題
辻 比呂志 (QST 病院長)
山田 滋 (QST 量子メス研究プロジェクト プロジェクトサブマネージャー) |
| | 講演② 量子メス技術開発の成果と課題
白井 敏之 (QST 量子メス研究プロジェクト プロジェクトマネージャー)
近藤 公伯 (QST 量子メス研究プロジェクト プロジェクトサブマネージャー) |
| 16:00 | 休憩 |
| 16:15 | パネル討論 重粒子線がん治療と量子メスへの期待
モデレーター：
門村 幸夜 (文部科学省 科学技術・学術政策研究所 客員研究官)
パネリスト：
大野 達也 (群馬大学腫瘍放射線学教室教授)
宮崎 勝 (国際医療福祉大学副学長)
眞島喜幸 (NPO 法人パンキャンジャパン理事長)
佐野雄二 (JST 未来社会創造事業プログラムマネージャー) |
| 17:00 | 閉会挨拶
木村 直人 (QST 理事) |

主催：  QST 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

後援（予定）：文部科学省、日本医療研究開発機構、日本医学放射線学会、日本医学物理学会、日本加速器学会、日本原子力学会、日本放射線腫瘍学会